

# 堀内誠一

徳島県立近代美術館

2010年4月29日[木・祝] - 6月13日[日]

ズギズギと

立木謙治



川谷和敏

特別展

Seichi Horiuchi through his graphic works, picture books and journeys



主催：徳島県立近代美術館 / 徳島新聞社 / 四国放送 特別協力：堀内事務所 企画協力：アートプランニングレイ 協力：福音館書店 / マガジンハウス / 平凡社 後援：NHK徳島放送局 / エフエム徳島 / 徳島県文化振興財団

開館時間：午前9時30分-午後5時  
 休館日：月曜日、5月6日[木] ※5月3日[月・祝]は開館します。  
 観覧料：一般600[480]円 / 高・大生450[360]円 / 小・中生300[240]円 [ ]内は20名以上の団体料金です。  
 小・中・高生は土・日・祝日は無料です。高齢者(65歳以上)・障害者は、観覧料が半額になります。受付でお申し出ください。  
 特別展の観覧料で所蔵作品展もご覧いただけます。

- 1 ヴェネツィア、サン・マルコ広場[堀内誠一発ノリの手紙(B)]の原画「装苑」第31巻第8号 1976年
- 2 「ぐるまプランキー」こどものとも 33号 南仏フレネ幼稚園児作、伊東三郎訳 福音館書店 1958年
- 3 「ぐるまのようちえん」こどものとも 110号 西内ミナミ作 福音館書店 1965年
- 4 「アンアン」創刊号(写真/立木謙治 モデル/マリタ・ジー) 平凡社 1970年
- 5 「オリブ」創刊号 平凡社 1982年 ©Hearst Holdings, Inc.
- 6 「ポパイ」創刊号 平凡社 1976年 ©Hearst Holdings, Inc.
- 7 「アンアン」第6号(写真/立木三朗 モデル/立川ユリ コスチューム/金子功) 平凡社 1970年

立木謙治 (1927-2008) 徳島県立近代美術館蔵

立木川段 (1927-2008) 徳島県立近代美術館蔵



特別展

堀内誠一

旅と

絵本と

デザインと

©Hearst Holdings, Inc.

特別対談  
**都築響一×堀内花子**  
**堀内誠一を語る**  
**クリエイターとして・父として**  
 5月9日〔日〕  
 午後1時30分～3時30分 美術館ロビー  
 申込不要 要観覧券(小・中・高生は無料)  
 \*都築響一(編集者・写真家)、堀内花子(長女)

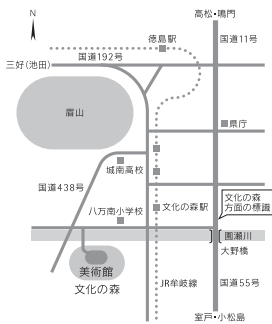
学芸員による展示解説  
 5月2日〔日〕、16日〔日〕、23日〔日〕  
 いずれも午後2時～3時 展示室3  
 申込不要 要観覧券(小・中・高生は無料)

こども鑑賞クラブ  
 6月5日〔土〕午後2時～2時45分 展示室3  
 小学生対象 申込不要、参加無料(保護者は要観覧券)

※お知らせ  
**県立図書館 5月のおはなし会**  
 5月9日〔日〕、23日〔日〕  
 いずれも午後1時30分～2時  
 県立図書館 こどもの本コーナー おはなしのへや  
 申込不要、参加無料  
 \*堀内誠一さんの絵本の読み聞かせもあります。  
 タイトルはお楽しみに!

**徳島県立近代美術館**  
 770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園  
 phone:088-668-1088  
 http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/

交通のご案内  
 JR徳島駅から徳島市営バス・徳島バス利用【約25分】  
 JR牟岐線文化の森駅から徒歩【約35分】



この次の展覧会  
**濱谷明夫展—藍と造形**  
 7月17日〔土〕～9月26日〔日〕

雑誌「平凡パンチ」や「アンアン」「ブルータス」などの先進的なアート・ディレクターとして、また『くろまブランキー』『ぐるんぱのようちえん』『たろうのばけつ』ほか、多くの人気絵本を生み出した作家として多彩な創作活動を繰り広げた堀内誠一(1932-87年)。そして彼は世界各地を旅して、多くのイラストや絵手紙を残した「旅行家」でもありました。  
 本展では、「デザイン」「絵本」「旅」の三つの側面に焦点を当て、堀内誠一の生涯にわたる活動の変遷をたどりながら、その全貌に迫ります。

## 序章 父のいた少年時代

昭和初期を中心に活躍した図案家(デザイナー)の父・堀内治雄のそばで、当時の先端を行くモダンな商業美術(グラフィック・デザイン)の数々に囲まれて成長した少年時代。そして、わずか14歳で入社した「新宿伊勢丹百貨店宣伝課」時代の仕事を振り返ります。

## 第1章 デザインの仕事

千代田光学(ミノルタ)のPR誌「ロココール」を皮切りに、「週刊平凡」「平凡パンチ」や、「アンアン」「ポパイ」「ブルータス」「オリーブ」など、時代をリードした雑誌のアート・ディレクションを紹介します。



ブルータス 1980年創刊から現在まで使用  
 平凡出版(マガジンハウス) ©Hearst Holdings, Inc.

平凡パンチ女性版 1966年創刊から1970年第4号(最終号)  
 平凡出版

エッセ 1986年第64号から現在まで使用  
 扶桑社

## 第2章 絵本の仕事

『くろまブランキー』『七わのからす』の2作のデビュー作から、『ぐるんぱのようちえん』や『たろう』シリーズなど、人気絵本作家・堀内誠一の絵本の世界を、多くの原画と共に一望します。  
 『こすずめのぼうけん』こどものとも241号 ルース・エインワース作、石井桃子訳 福音館書店 1976年



## 第3章 旅—パリからはじまる旅の時代

ヨーロッパを中心に28ヶ国、のべ300都市以上を訪れた堀内。旅先から送られたイラストと手書きの文章による旅行記を中心に、旅行家・堀内誠一の旅をたどります。



メキシコ、  
 バザール・サハト(土曜日)  
 『空とぶ絨毯(41)』の原画  
 「アンアン」第337号  
 1982年



「堀内誠一  
 旅と絵本とデザインと」  
 平凡社コロナ・ブックス刊  
 1680円(税込)  
 本書は徳島県立近代美術館が開催する同名の展覧会「堀内誠一 旅と絵本とデザインと」に呼応する展覧会図録として、編纂されました。会期中は1Fミュージアムショップで販売。